

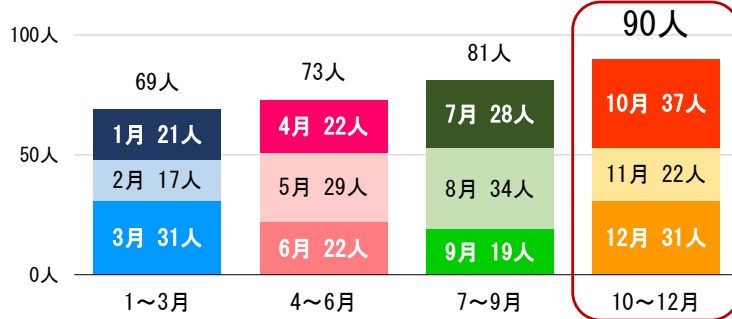
10～12月の交通死亡事故特徴

～ 過去5年間（R1～R5）の死亡事故データから見る ～

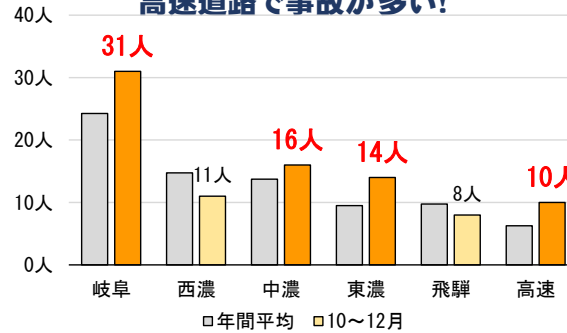
10～12月の死者数は、四半期で比較すると年間で最も多く、薄暮時間帯の16時から18時に多く発生している。また、市町村道での事故が多く、歩行者及び自転車の被害が多発しており、特に75歳以上の高齢者の被害が多い。
人対車両、単独事故が多い他、最高速度違反による事故が年間で最も多い。

《10月》夜間の事故が年間で最も多く、特に日没後1時間の発生が多い。道路横断中の歩行者被害が年間で最も多く、高齢歩行者の被害が多い。
《11月》16時～18時の事故が多い他、市町村道での事故、単独事故が多く、高齢運転者による事故が約5割と多い。
《12月》国道・市町村道での事故、単路での事故、最高速度違反による事故が多く、歩行者及び自転車の被害が多い。

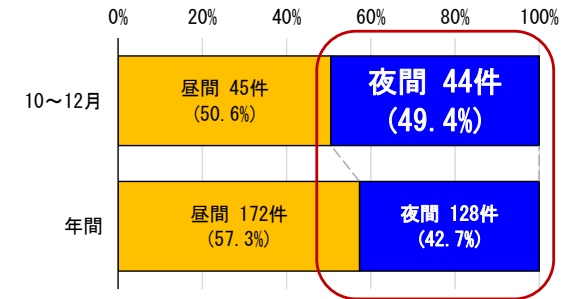
事故死者が四半期で最も多く、特に10月が多い



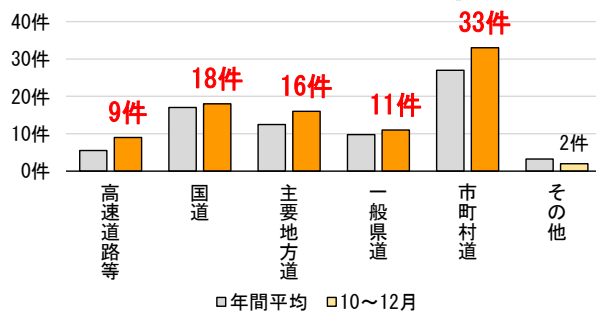
岐阜・中濃・東濃ブロックや高速道路で事故が多い!



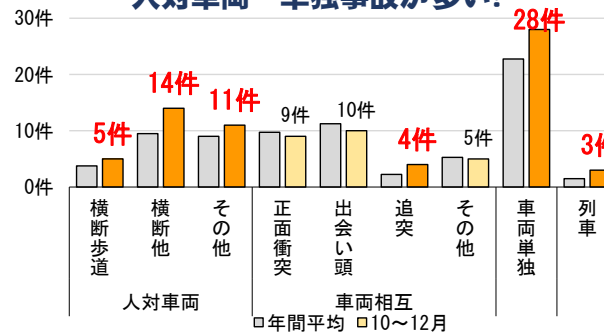
夜間の事故に注意!



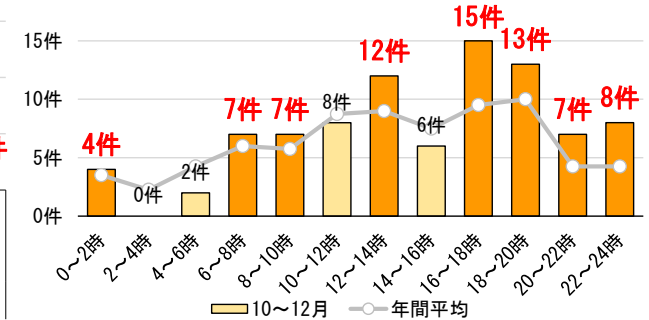
高速、主要地方道、市町村道が四半期で最多!



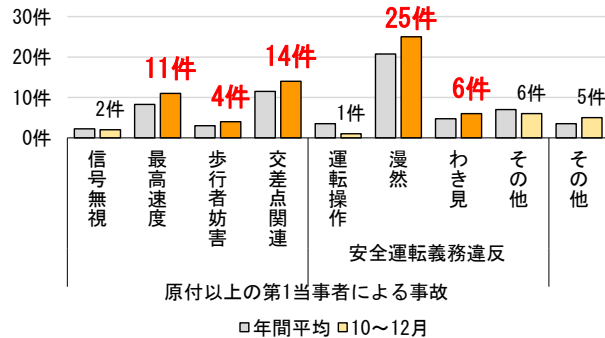
人対車両・単独事故が多い!



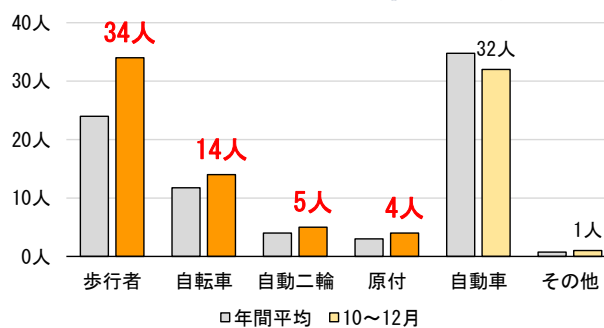
16～20時に事故が多い!



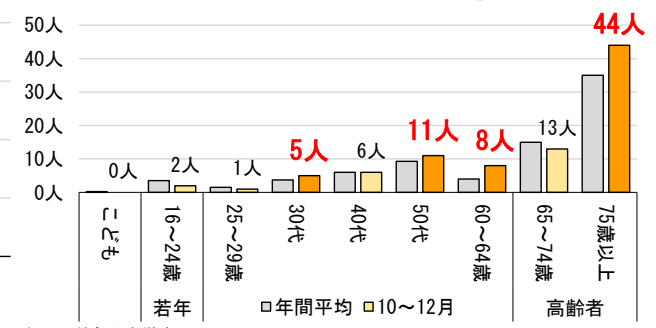
最高速度、歩行者妨害違反による事故が多い!



歩行者の被害が四半期で最多!



60～64歳、75歳以上の被害が四半期で最多!



注：こどもは中学生以下。